

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第296号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成21年9月27日 23時00分ごろ	
発生場所	和歌山県串本町 潮岬灯台から真方位098° 7.2海里付近 (概位 北緯33° 25.3′ 東経135° 53.8′)	
事故等調査の経過	平成21年9月28日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	ケミカルタンカー ^{マリン} ^{ギャラクシー} MARINE GALAXY（パナマ共和国）、742トン 9046590（IMO 番号）、MARINE GALAXY SHIPPING S.A.（パナマ共和国）、JEIL MARINE CO.,LTD（大韓民国）	
乗組員等に関する情報	船長、MASTER OF SECOND GRADE 機関長、CHIEF ENGINEER OF SECOND GRADE	
死傷者等	なし	
損傷	主機4番シリンダの「あし出し」（ピストン、シリンダライナ、接続棒等が損傷）	
事故等の経過	本船は、イソプロピルアルコール約350トンを積載し、千葉港から阪神港神戸区に向けて潮岬灯台の東方沖を航行中、平成21年9月27日23時00分ごろ、主機4番シリンダのクランクピンボルトが折損したことから、自由となった接続棒の大端部が、大音響を発生してクランク室の両舷側ドアを突き破った。 これにより、主機の運転ができなくなり、運航不能に陥り、漂流を始め、その後、来援したタグボートによって阪神港神戸区にえい航された。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 3、視界 良好 海象：うねり なし	
その他の事項	主機は、平成21年6月、入渠した大韓民国の造船所で、地元業者によって開放整備されていた。しかしながら、機関長は、ドック工事が終了した直後に乗船しており、入渠中、どのような整備が行われたのか把握していない。特に、クランクピンボルトの締め付けについて、計測記録もなく、同ボルトの新替の有無、締め付け方法など、原因に繋がる口述は聴取できなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 主機4番シリンダのクランクピンボルトが折損して接続棒大端部が自由となり、接続棒がクランク室のドアを突き破り、主機の運転が出来なくなったものと考えられる。 クランクピンボルトは、事故発生の約3箇月前の入渠工事で開放整備された際、復旧時の締め付け

		不良により、折損した可能性があると考えられるが、折損した原因については明らかにすることはできなかった。
原因	本インシデントは、本船が潮岬灯台東方沖を航行中、主機4番シリンダのクランクピンボルトが折損したため、主機の運転が出来なくなったことにより発生したものと考えられる。	